

2026年度 社会学部
総合型選抜入学試験
外国高等学校卒業生及び帰国生徒対象入学試験

出題意図及び採点する際の観点

小論文の出題意図：

小論文は、主として志願者の国語力やデータ（数字）・グラフ読解力を含む基礎学力を評価するために出題された。課題は、日本社会の重要課題の一つとして挙げられる「少子化」について、4つの資料を基に論じることを求めるものである。1つ目は最近の傾向を示す厚生労働省の人口動態統計を基にした新聞記事（資料A）、2つ目と3つ目は少子化の原因や課題に関するインタビュー記事やアンケート結果を示す新聞記事（資料Bおよび資料C）、そして4つ目は日本の人口ピラミッドの変化を示すデータ（資料D-1）と一般市民の意識調査の結果（資料D-2）であった。

【問題】（1）では資料A～Dの内容について多面的に論じることを求め、その際には全ての資料の図表に触れることを求めた。次いで【問題】（2）では、上記を踏まえて少子化の原因や対策について論じることを求めた。

小論文を採点する際の観点：

【問題】（1）および【問題】（2）のいずれにおいても、資料に言及し、内容を的確に理解できているか、データ（数字）やグラフに言及し、内容を的確に理解できているか、資料の内容を引用（抜粋）して概略するにとどまらず、説得力のある形で多面的に論じられているか、適切な文章形式で論述できているかという観点から総合的に評価した。